

第 155 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 29 年 7 月 28 日 (金) 14:00~16:20

場 所 電気クラブ B 会議室

出席者 委員長 大谷 (日大)

副委員長 仲嶋 (福山大)

委 員 河村 (アンリツ), 佐山 (防衛大), 布施 (電中研)
松村 (日大), 水野 (NICT)

参 加 石井 (元仙台高専)

幹 事 作本 (日大), 今池 (日大)

幹事補佐 白井 (日電検)

資 料

155-1 平成 30 年度 計測技術委員会活動計画一次案

155-2 平成 30 年度 研究会開催予定一次案

155-3 平成 29 年度 計測技術委員会 活動状況

155-4-1 電気学会 計測研究会開催案内 (6 月開催分)

155-4-2 電気学会 研究会企画連絡シート (10,11 月開催分)

155-5-1 平成 29 年度研究会活動補助金計算書

155-5-2 計測研究会発表件数の推移

155-6 「イノベーションを創出する最新の計測技術 2017」特集

155-7 第 9 回テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会議事録案
計測技術委員会委員名簿

IM-09 活動報告

IEEE 主催 2017 年度第 1 回「学生研究発表会」開催のお知らせ

議 事

1. 議事録の確認

異議無く承認された。

大谷委員長より以下の補足があった。

9. 企業招待講演者についてアンリツ鈴木氏 (営業推進部) が承諾した。

10. 2019 年度 A 部門大会開催候補場所について岩手大に決定した。

11. A 部門大会における技術委員会ポスター紹介について、最後に設置された技術委員会の活動が既に 10 年を越え、活動状況を十分周知できたため 2017 年度よりポスター紹介を行わないこととなった。受賞者の研究紹介は A 部門誌 1 月号に掲載する。

2. 研究調査運営委員会

大谷委員長より以下の報告があった。

・プラズマ技術委員会とパルス電磁エネルギー技術委員会が合併した。

・技術報告未提出の件について、スピードが命のため、今後 5 年を経過したら発行を認めないこととなった。

・技術報告について、著者が執筆後、編修課での校正を1名で行っているため4～5ヶ月かかることが報告された。

- ・技術報告として単行本の出版可能。社会的影響が大きいため別途審査を行う。
- ・電子情報通信学会と電気学会との研究会連催を行った場合、電気学会は冊子を刷らない。電子情報通信学会は参加料をとって電子データ配布する。電気学会は参加無料で印刷しないので手元に残らない。企画シートに部数を記入すると印刷物として残る。
- ・上級会員の申請締切が7月31日で、2名を推薦した。
- ・国際会議、全国大会シンポジウム3件が既に決定している。
- ・研究会の会場費について1回3万円を上限とするが、100人規模を越え費用が不足するような場合は、参加費の徴収し会場費に充当してもよいことが承認された。
- ・補助金の使途について、懇親会の補助は不可。ガイドラインに記載がある。懇親会報告書の宛名は電気学会で作成する。謝金については源泉徴収分を電気学会に戻す。
- ・技術報告の作成にあたっては70ページを目標にし、それ以上ページが増えるのは構わない。講習会を開催し、技術報告の販売、参加費の徴収で利益を出していく。
- ・特別講演を依頼した金子氏に関する費用申請が学会本部に認められた。

3. 平成30年度活動計画一次案

作本幹事より資料155-1に基づき説明があった。

- ・研究会の開催テーマ、回数について、7月のセンサをやめて、調査専門委員会のテーマを入れる案が挙がった。
- ・5月10月開催を無くして7月については上記も含めてテーマ変更を考える。二次案三次案までに候補を挙げる。

4. 平成29年度活動状況

作本幹事より資料154-2に基づき説明があった。

- ・8月10日までに浜松ホトニクス見学会の出欠を仲嶋副委員長に連絡する。
- ・8月開催のセンサ応用計測及び一般は申し込み1件により中止。
- ・2月の開催地（沖縄）について会場は青年会館となった
- ・第10回、第11回テラヘルツ調査専門委員会で技術報告の前半部と後半部の読み合わせを行う。

5. 開催予定、開催済み研究会

- ・11月の研究会でアンリツから展示OKの返事。出展料2万円で机1個を提供する。また計測エンジニアリングシステムより解析例の講演を30分依頼。出展料でパンフレットを陳列する。
- ・11月研究会で自動制御学会からの補助が無くなった。
- ・企業技術交流会は懇親会の直前に行う予定。
- ・IEEE学生発表会は東北大で開催し、計測研究会は仙台駅前で開催する。IEEE総会は佐賀大で行う。

6. その他

- ・ 特集解説（計測技術における研究開発の動向と最前線）について飴谷氏以外からは記事が届いており、8月終わりまでには書き上がる予定（6 ページ）。
- ・ 全国大会シンポジウムの募集について 4 件中 3 件は既に候補が挙がっており、計測技術委員会に依頼される可能性はほぼ無い。
- ・ 第 9 回テラヘルツ委員会について文化財と医療をテーマにした文献紹介が行われたことが布施委員より報告された。技術報告作成にあたり使用許諾のチェックリストが煩雑であるため、大谷委員長が次回調査専門委員会の議題に挙げることとなった。
- ・ 委員名簿についてアントン編修委員の後任決まったが誰だか不明。

IEEE 関係

- ・ チャプタ支援費は昨年度と同額 400 万円、70 件の支援申請があり今年度も 10 万円。
- ・ 事務局の処理が滞っており 11 月、12 月分については未払いのまま。
- ・ 東北大の会場費は支援申請し、IM-09 の口座から立替で支払う。
- ・ 特別講演を行った場合の費用について、支払われない場合でもこれまでの蓄えから支払うことは可能。
- ・ MoU に関して従来は JC に依頼していたが、今後はセクションに依頼を申請する。
- ・ IEEE メーリングリストに研究会情報を流す作業（含 pdf→テキスト平文へ変換）の担当を仲嶋 Chair から河村 Secretary に変更。

次回予定

日 時 平成 29 年 10 月 13 日（金）11:00～13:00

場 所 えんてつ浜松駅前貸会議室